

「うなぎの老舗 川よし」様による福祉施設への慰問活動

実施日:令和7年10月16日(木)

開催場所:金浜療護園

うなぎの老舗 川よし様による慰問活動が障がい者施設「金浜療護園」で行われました。川よし様は1972年から毎年、市内の福祉施設で社会貢献の一環としてうな重を振舞う慰問活動を行っており、今年で57回目となります。

利用者さんは、美味しそうにうな重を頬張りながら、「全部おいしかった。うなぎを食べると元気になる」と笑顔で話してくれました。松崎社長は「この活動で、『おいしかった』と言ってもらうことが一番励みになる。できる限り続けていきたい」とお話をされました。川よし様、あたたかい善意ありがとうございます。



三井住友海上火災保険株式会社 様において出前講座を実施しました

実施日:令和7年11月13日(木)

実施団体:三井住友海上火災保険株式会社

三井住友海上火災保険株式会社様において、「ボランティア活動への参加について～ボランティア活動紹介～」「災害ボランティアについて」出前講座をDVDやクイズを交えて実施しました。参加された方からは、「今回の講座を通して、自宅に備蓄している備蓄品では足りない、1ヶ月分の量をきちんと準備しておく必要があると思った」「ボランティアというと災害ボランティアを強くイメージしていたが、平常時からのボランティアも足りていいことを意識し、自分の出来ることをやっていきたいと思った」などの感想をいただきました。今回の出前講座をきっかけにボランティアについて日頃から意識し、まずは自分の出来ることから活動していただきたいと思います。



出前講座のようす

「藤はじめ後援会」様より車いすの寄贈

歌手の藤はじめ様より、車いすを寄贈いただきました。

毎年、チャリティーショー「ふるさと歌謡まつり」の収益の一部で、車いすを購入されて、ご寄贈いただいております。

歌手として、社会福祉活動を通じて地元に貢献されている藤はじめ様。心温まる善意、ありがとうございます。



除雪ボランティアを募集しています！

青森市ボランティアセンターでは、冬期間の除雪ボランティアを募集しております。高齢者、障がい者世帯等の屋根の雪下ろし、家の周りの除雪活動を実施します。個人、団体、企業の皆さまのご協力をお願いいたします。詳しくは、青森市社会福祉協議会までお問い合わせください。

■TEL (017)723-1340



協力団体の活動のようす

2025. 冬号

ボランティアセンター NEWS

編集/発行
社会福祉法人 青森市社会福祉協議会
青森市本町4-1-3
TEL (017) 723-1340
FAX (017) 777-0458

青森市と災害時におけるボランティアセンター設置等に関する協定「締結式を行いました。災害発生時に青森市と連携協力をし、災害ボランティアの受け入れ、活動の調整や円滑な災害ボランティアを実施し、被災者の生活支援に寄与すること」を目的としています。



青森市 西市長と青森市社協 成田会長による協定の締結式



■参考した学生さんより
将来、福祉に携わる仕事をしたいので、様々な活動をボランティアを通して経験してみたいと思って参加しました。利用者さんとのかかわりも楽しく、とても勉強になりました!
また機会があれば、活動したいです。

「体験ボランティア」について、中面に詳しい内容が掲載しております

体験ボランティアは皆様のご協賛により運営されています
企業の皆様、ありがとうございます

Procrea
青森みちのく銀行

みんなで止めよう温暖化
建設機械リースと運営
(有) 三木本物貨物運送
TEL(017)738-1121 FAX(017)738-3282

大青工業株式会社
〒030-0131 青森市問屋町1丁目9-30
TEL:017-738-2131 FAX:017-738-9333

いざという時のために日頃からボランティアへ参加を

大規模災害発生時「災害ボランティア」の活躍

をテレビや新聞などで報道されていますが、いざボランティアをしてしまうと不安に感じる方もいらっしゃると思います。

2025体験ボランティア

体験学習として青森市ボランティアセンターが実施している体験ボランティアでは、ボランティア活動ができる方なら、どなたでも参加できます。また、活動登録をした方は、ボランティア活動保険へ自動加入となり、安心して活動が出来ます。まずは、ボランティア登録をして体験ボランティアで活動に参加してみませんか？

「ボランティア」に関する情報、ボランティア活動者登録・ボランティア活動申込みは、ホームページで出来ます！



活動メニューはこの他にもございますので、ホームページをご覧ください！

高齢者関係

【団体】青森市中央デイサービスセンター
【内容】利用者の方とのコミュニケーションや水分補給、ドライバーかけ等の整容介助の補助等を行っていただきます。



障がい児・者関係

【団体】指定障害福祉サービスうとうの園
【内容】利用者との作業交流、施設内行事での付き添いなど※作業内容は日によって異なります。



児童関係

【団体】社会福祉法人佃福祉会 佃保育園
【内容】3・4・5歳児クラスに入っていただき子ども達とふれあい、過ごしてもらいます。元気いっぱいの子ども達とたくさん遊び、楽しい時間を過ごしましょう♪



その他

【団体】青森県視覚障害者情報センター
【内容】月に1、2回程度軽作業（封筒ハッパコを押す、ラベルを貼る等）をお願いします。男性の方には、力仕事（書庫の整理）をお願いする場合があります。



体験ボランティア活動で学生ポイントをゲットしよう!
HOP! STEP! JUMP!



青森市内の高校生・大学生・専門学生へボランティア活動参加への動機付けと活動意欲の高揚、継続性を図るために、「体験ボランティア」活動を通した学生ポイント制度を導入しています。

青森市内の高校生・大学生・専門学生が実施期間中に「体験ボランティア」の活動メニューで5回以上ボランティア活動をすると図書カード(1,000円相当)を差し上げております。

参加お申込みは、青森市ボランティアセンターホームページ、または窓口にて受付しております。



活動レポート

委員会は判断と連携の場

令和7年度民間福祉施設職員研修会並びに2026体験ボランティア説明会

実施日：令和7年11月18日(火) しあわせプラザ(中会議室&Zoom)

講 師：青森市保健所感染症対策課 保健師 藤田 貴子 氏



講師 藤田 貴子氏



グループでの意見交換のようす

ボランティア活動をつないでいくために ～参加しない人のキモチから考えよう～

令和7年度ボランティア研修会

実施日：令和7年11月28日(金) しあわせプラザ(大会議室)

講 師：青森大学社会学部 教授 柏谷 至 氏



講師 柏谷 至 教授



ワークショップのようす

「ボランティア活動をつないでいくために」をテーマに、ボランティア研修会を開催しました。当日は高校生、大学生、個人ボランティア、ボランティア団体関係者など計21名が参加しました。4つのグループに分かれてワークショップを行い、世代を超えた意見交換の場となりました。参加者は「私とボランティア活動」というテーマで活動を通じて感じたこと、ボランティアに参加しにくい理由、新しい参加者を増やすためのアイデアなど、自由に意見を出し合いました。高校生からは「最初は調査書のために参加をしたが、感謝される嬉しさを知り、自分の考えが変わった」、大学生からは「活動内容がもっと見えるようなポスターがあれば参加しやすい」など、若者ならではの視点も多くありました。異なる世代と一緒に話し合うことで、普段の生活では得られない気づきが生まれ、「社会を支え合うことの大切さ」を改めて実感する機会となりました。今後も、若い世代の意見を反映しながら、誰もが参加しやすいボランティア環境づくりを目指し、研修、広報活動を続けていきたいと思います。